

会議録

◇詳細― 教育部庶務課文化財グループ 電話 03-3981-1190

附属機関又は 会議体の名称		令和5年度 豊島区文化財保護審議会（第2回）
事務局（担当 課）		教育部庶務課
開催日時		令和6年12月22日（金） 午前10時～
開催場所		としま産業振興プラザ第3会議室
出席者	委員	菊池 徹夫（会長・早稲田大学名誉教授） 大石 学（東京学芸大学名誉教授） 副島 弘道（大正大学名誉教授）※オンライン参加 内田 青蔵（神奈川大学教授） 加藤 律子（日本刺繍作家） 古泉 弘（特定非営利活動法人としま遺跡調査会理事長） 長佐古 美奈子（学習院大学史料館学芸員）
	事務局	教育長 庶務課長 庶務課文化財グループ係長、庶務課文化財グループ学芸員、 庶務課文化財グループ主事、庶務課文化財グループ文化財保護専門員、 郷土資料館学芸員
公開の可否		公開
非公開・一部公開の場合は、その理由		
会議次第		（1）豊島区文化財の登録について 【候補物件1】有形文化財（考古資料） （2）【豊島区登録有形文化財】豊島区指定文化財候補物件1 （3）報告事項
○事務局		～ 開会あいさつ ～
○会長		それでは、これより議事に入ります。次第2の（1）豊島区文化財の登録について、事務局から説明をお願いいたします。
○事務局		～ 事務局より教育委員会からの諮問資料【候補物件1】について説明 ～

○会長	ただいま事務局より説明のあった内容も含めまして、ご質問やご指摘等お願いします。
○委員	最後から２段落目の「近世以前の遺物が整地層に混入したことに起因する」とはどういうことでしょうか。
○事務局	失礼いたしました。遺物が小破片であることと関係がないため、「近世以前の整地層に混入した」という表記を削除します。
○委員	小破片ばかりが出土するという表現はあまり良くないことのような印象を受けるので、小破片であることの具体的な評価を教えてください。
○事務局	小破片が多く出土するという状況から分かる遺跡の情報があるという点が評価できると考えます。しかし、「小破片ばかり」という表現ですと負の印象に繋がるため、「小破片が多い」や「小破片が主体である」という表現に修正したいと思います。
○委員	遺物の全てが小破片であるならば、「全て小破片」とした方が分かりやすいのではないのでしょうか。
○事務局	全てが小破片のため、ご指摘のとおり修正します。
○委員	小破片が多いのは、大規模な整地が原因と考えられるのでしょうか。そうであれば、遺物が全部小破片であるということよりも、小破片が多い原因を示した方が分かりやすいのではないのでしょうか。
○事務局	はい、そのように修正します。
○会長	それでは、各委員から指摘をいただいた点について訂正をしてください。
	続いて、次第の２の（２） 豊島区文化財の指定について、事務局よりご説明をお願いします。 ～ 事務局より教育委員会からの諮問資料について説明 ～ 説明が終わりました。 ただいま事務局より説明のあった内容も含め、ご質問やご指摘等ありますか。
○委員	遠藤楽氏と新氏の親子関係について、新氏が自由学園の設計に関わっていることを記した方が理解しやすいのではないのでしょうか。また、遠藤現氏の調査について、伝統技法研究会の報告書に含まれているのであれば、記載しなくても良いのではないのでしょうか。
○事務局	ご指摘のとおり現状の記載内容ではわかりづらいため、報告書にあるような内容を追記したいと思います。

○委員	本建造物について、今後の公開や活用についての方向性は決まっているのでしょうか。
○事務局	まだ具体的には決まっておりませんが、文化財としての価値を損なわない形での公開活用ということについてはご理解をいただいています。
○委員	本建造物が現在でも社屋として使用されていることを記載した方が良いのではないのでしょうか。
○事務局	はい、そのように修正します。
○委員	指定の範囲について、増築部分も含む全体を対象として問題ないのでしょうか。今後の整備や用地転換が難しくなることは所有者に理解いただいているのでしょうか。
○事務局	中庭を含む建物全体を指定するということでご説明しています。増築の部分にも三枚下ろしの構造があり、遠藤新氏の特徴がみられるため、そこも含めての文化財指定にご理解をいただいております。
○会長	それでは、各委員から指摘をいただいた点について訂正をしてください。 他にございますか。よろしいですか。 本日の審議は以上となりますが、事務局から連絡事項があればお願いします。 ～ 事務局より教育委員会からの報告事項について説明、質疑 ～ それでは、以上をもちまして、第2回豊島区文化財保護審議会を閉会します。